

※ 今週のアウトルック(3/7~3/11)

先週はドル円は狭いレンジでのみ合い、ポンドは下落、ユーロは大きく下落、というような結果となりました。

ウクライナ情勢の影響がユーロにより出ているようです。

今週もウクライナ情勢に大きく左右されそうです。

早期に終息の様相が見えてくれば、ユーロなどは大きくリバウンドしそうですが、なかなか難しいように思います。

またその逆のシナリオとなった場合には、パニック的な売りには警戒が必要です。

先週のドル円は、114円台中盤から115円台後半までの狭い動きとなりましたが、ユーロに対しては大きく上昇しています。

今週は、ウクライナ情勢次第でおおきく変わりそうですが、最悪のシナリオが実現された場合には、ドル円も下落する可能性を考えたほうが良いかもしれません。

ドル円の予想レンジは113円から116.5円です。

先週ユーロ円は、金曜日に127円付近のサポートを割り込んで大きく下落しました。ウクライナ情勢の先行きが不透明度を増すにつれ、ユーロ売りが活性化しているようです。

今週はウクライナ情勢が好転の兆しを見せない限り、次のサポートラインである123円付近まで下落する可能性を考慮しておいたほうが良さそうです。

ユーロ円の予想レンジは122円から129円です。

ポンド円も週末には大きく下落しました。

150円付近で下げ止まらなかった場合には、急落に注意が必要です。

ポンド円の予想レンジは149円から157円です。

今回の米国雇用統計の結果などは、為替の動きにあまり影響していないようです。今週もウクライナ情勢に関する報道には、常に耳を傾ける必要があります。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。